



志岐高便り

第180号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校
[TEL]0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88
[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



稲叢に思う

校長 平山 啓一



すっかり秋も深まり、肌寒さが感じられるようになりました。10月は“神無月”と呼ばれますが、これは全国の神様が出雲に向くことに由来します。当然、出雲では“神在月”と呼ぶのです。出雲に集まった神様たちは、“縁結び”について話し合います。世の中の不思議な縁は、元を迎ればこの話し合いで決まるのかも……。そんな他愛もない想像を楽しむのは私だけで、生徒たちは「〇〇の秋」に勤しむ毎日を送っています。

今月に入り3年生の受験も本番モードとなり、受験の手続きで校長室を訪れる生徒も増えてきました。激励に励んで、気持ちのよい返事が返ってきます。高校卒業後の進路選択は、人生で最初の大きな決断と言っても過言ではないでしょう。彼らの返事はその決断に対する責任の証なのかもしれません。

話は変わりますが、この時期、刈り終わった田んぼでは稲が天日干しされています。郷愁を覚える光景ですが、その静かな佇まいは苦難を乗り越えた稲が安息しているようにも感じます。特に、今年は2つもの台風に見舞われたので、心底ホッとしていることでしょう。風で倒されながらも無事天日に干された稲には、ねぎらいの言葉をかけてあげたいと思います。



ところで、稲が天日干しされている状態を何と呼ぶでしょうか？

答えは“稲叢(むら)”です(稲や藁を積んだものも呼ぶようです)。この稲叢には「稲むらの火」と題される有名な話がありますので、あらすじを少し紹介します。

ある農村の高台に住む村長の五兵衛は、いつもの地震とは異質な揺れと地鳴りを感じて、村の様子を眺めた。ふもとの村は収穫祭の準備に忙しく、村人たちは地震に気づいてない様子であった。視線を村から海へ移してみると、海水が見る見る沖に向かって退いている。

「津波が来る！」一刻の猶予もないことを悟った五兵衛は、刈り取ったばかりの稲むらに火をつけた。火事に気づいた村人たちは、火を消さねばと我先に高台に駆け登ってきた。村人全員が登り終えたとき、ふもとの村は津波に飲み込まれていたのである。

いつの時代も刈り取った稲は宝物です。その宝を灰にしてまで村人の命を守ろうとした五兵衛の決断に、私たちが学ぶべきことは何でしょうか。

五兵衛には実在のモデルがいました。その実話をヒントに、ラフカディオ・ハーンが書いた小説がこの話のもとになっています。

「苦悩に対決し、それを克服せよ。克服するということが人に力を与える」

決断には苦悩が伴います。しかし、決断するにはその苦悩を乗り越えなければなりません。そうして人は強くなっていく。ハーン言葉は今も色褪せません。台風を乗り越えた稲のように、コロナ禍を経験して3年生の心も間違いなく強くなっています。その強さは必ずや進路実現の力となることでしょう。彼らの大願が成就するように、出雲に向く志岐の神様にはそのための縁結びをしっかりと話し合ってきてほしいものです。(ちなみに旧暦の神無月は、10月の終わり頃から始まります)

第 3 学 年 よ り

10月1日(木)に2学期中間考査が終了し、就職試験や公務員の2次試験、大学や専門学校への推薦入試など各種試験が本格的に始まってきました。生徒たちは担任や学年の先生だけでなく、他学年の先生や部活動の顧問の先生など多くの先生方に、面接や小論文の指導等を受けながら、入試の準備に全力で取り組んでいます。

一方で、大学入学共通テスト100日前集会が10月8日(木)に開かれました。校長先生からはコロナ禍の中でのこれまでの73回生の健闘を賞賛していただき、これからの頑張りにエールを送ってもらいました。生徒代表としては3年1組住吉君が今後の学習に対する熱い決意を語ってくれました。「自分が学習していて集中できなくなったとき、仲間が頑張っている姿を見ると自分も頑張ろうと思える。」と語ってくれて、受験に対する学年全体の意識統一につなげてくれました。

保護者の皆様におかれましては、お子様の学校生活に対する日々のご支援いつもありがとうございます。今後も温かなサポートを継続していただき、お子様が受験で本来の力を発揮できるようご支援をよろしくお願いいたします。



第 2 学 年 よ り

先月号でご紹介した京都府立亀岡高等学校との学校交流動画が完成し、その鑑賞会を行いました。吉岐市の魅力や吉岐高校の紹介が中心でしたが、作成については各クラスの代表、部活動生徒が協力し、笑顔で撮影に臨んでくれました。中にはユーモアを多く取り入れた紹介もあり、鑑賞会中笑いが起きる場面もありました。撮影に協力してくれた生徒たちの協力で心から感謝したいと思います。

また、10月31日と11月1日に行われる全国模試に向けて、個人とチームで競い合う3/sun-RISEプロジェクトを計画しました。チーム戦では計24チームがエントリーしてくれ

ています。クラスを越えて互いに刺激し合う雰囲気作りの一助となればと思います。「学び合い、高め合う学年づくり」を目指して、今後も学習活動に励んでいきます。



第 1 学 年 よ り

先日2学期中間考査の通知表を送付しました。また、10月31日は進研模試に向けて、「質問Quest」というタイトルの元、学年全体で積極的な取組を試みました。入学後の取組が反映される時期です。全国の高校1年生と比較した自分の立ち位置を把握しましょう。様々な日程で学校開放が設定されています。皆で集中している姿は互いに刺激になっている筈です。この機会の活用を期待しています。

競技大会では、1年生のクラスが2種目で優勝しました。好天の下、皆でプレーしたり、応援したりする姿はとても朗らかで爽やかでした。部活動では、新人戦や対外的な活動発表等、自分の力を試す時期です。文化祭も控えていますが、友人たちと協働し、何かを生み出す場面が度々ある季節です。一つ一つの機会を大切に過ごして欲しいと思います。

日の傾きが早くなり、冷え込み始めました。保護者の皆様、お子様に対して、体調管理も含め、温かい支援を引き続き宜しくお願いいたします。



壱岐高Topics!

★九州大会を終えて★

1-1 土肥さくら 800m

私は今回九州大会に出場しましたが、気温が低くなり、事でのレース直前のアップ不足や、自分の得意とするレース展開を作れず、予選を通過することができませんでした。自分の練習してきた全てを出しきることができず凄く悔しいです。しかし、長崎県代表として大会に出場したことはとても誇りに思うし貴重な体験でした。今回の大会で新たに見つかった課題を改善し、更に強くなって来年また勝ち上がり同じステージでリベンジしたいです。そして今回出来ませんでしたが、皆さんの応援を結果として残すことを必ずして感謝を伝えたいと思います。

2-1 高城 日和 5000m競歩

私は九州新人陸上大会の5000m競歩に出場し、結果は27分33秒、21人中9位でゴールしました。9月の県新人戦で見つかった課題を意識して約1ヶ月間練習に取り組み、自己ベストを1分以上更新しての27分台、九州TOP10入り、長崎県選手の中で2位という3つの目標を達成できました。来年の高総体で入賞し北九州大会に進めるよう、新たに見つかった課題を冬季で克服していこうと思います。



11月行事予定 ①1年 ②2年 ③3年

1	日	冬時間開始 進研・駿台共催M模試③ 進研実力テスト②
2	月	創立記念日(授業なし) 自学③(終日) 九大オープン模試③ 小論文模試③
3	火	【文化の日】
4	水	【代休11/7】 学校開放
5	木	LHR(生徒総会議案書検討2/2)
6	金	県高校駅伝
7	土	中学生向け授業体験(普・東ア) 高総体駅伝報告会 ※水曜日の授業
8	日	壱岐高ファイナルテスト③ 第2回英検二次
9	月	進路ガイダンス①②
10	火	
11	水	文化祭
12	木	7校時: 薬物乱用防止教室
13	金	
14	土	大学入学共通テストプレ(河合塾)③ 学校開放 奈良大歴史フォーラム②
15	日	大学入学共通テストプレ(河合塾)③
16	月	生徒評議委員会
17	火	租税教室(③総学)
18	水	進路講演会③
19	木	生徒総会 考査時間割発表 部活動休止(~11/30)
20	金	
21	土	学校開放
22	日	中国語検定①②③
23	月	【勤労感謝の日】
24	火	
25	水	
26	木	期末考査①②③
27	金	期末考査①②③
28	土	学校開放
29	日	中国語スピコン③(京都) 歴史能力検定(9:00~10:00)
30	月	期末考査①②③

各分掌から

生徒支援部より

○衣替えについて

季節の変わり目は寒暖差が大きく、「衣替え」を行う季節となりました。男子は「制服から下着が出ない」、女子は「セーターの裾は折り曲げる」など正しく着こなすようにしてください。

○下校時間について

11月1日～2月28日までは冬時間となり18時30分となります。

【競技大会】

新競技「ジェンガ」に勤しむ生徒と見守る職員↓



進路支援部より

10月8日に人権同和教育が行われました。

1年生は体育館、2・3年生は教室（ZOOM）で受講しました。長崎県教育庁の松本栄太郎様による講演で、多様な性のあり方について正しい知識を身につけ、自他を大切に思う心や態度を養う講話をしていただきました。

また、同日3年生は大学入学共通テスト100日前集会を行いました。73回生の生徒に対して、校長先生から「正氣」という言葉を送られました。この言葉には、周りの環境に左右されず、ぶれない気持ちを持ち続け行動すれば必ず良い方向へ向かうという意味が込められています。学年主任の沖田先生からは、自身の体験談から「受験生にとって、悔いのない100日間にしてほしい」というお話がありました。

10月に入り、今年度も折り返しを迎えました。特に、3年生の多くは受験を控えており、1分1秒も無駄にできない時期です。

1・2年生にとっても2学期の中間考査が終了し、定期考査は残すところ2回となりました。どの生徒にとっても、計画的に学習に励み実行する秋になることを期待します。

東アジア歴史・中国語 コース

2年生歴史学専攻、全国歴史フォーラムで優秀賞！

「地歴の甲子園」と言われる奈良大学主催の全国高校生歴史フォーラムで今年度も歴史学専攻2年生の研究論文を応募しました。研究内容は昨年度夏に行った定光寺前遺跡の発掘調査をもとに「貿易陶磁器から見た中世吉岐の研究」というものでした。歴史フォーラムへの研究論文の応募は、今回で4年目になりますが、去年に続き、114件中の5件（優秀賞）に選ばれました。更に上位を目指して11月14日に奈良大学で研究発表を行います。



～Shane先生コラム～

Hello everyone! For this month, I would like to talk about my favorite holiday, Halloween! Halloween is my older sister's birthday. She loves it. She collects horror movies on VHS. Do you know who Freddy, Jason, Michael Meyers, and Pinhead are? They are my favorite characters. My entire family loves the horror style. Every year, we decorate our house and have a party. To go to the party, you have to wear a costume. My house is close to a forest. It gets dark and night and can feel really scary. Sometimes you can hear coyotes in the forest. It's a great place for Halloween. Talking about Halloween always brings up good memories. I hope you can enjoy this season!